

令和4年3月（第4回）光市教育委員会会議の要旨

1 開催日時

令和4年3月25日（金） 午後2時00分～午後4時35分

2 場 所

光市教育委員会 1階ホール

3 出席者

伊藤教育長、河村委員、武田委員

4 事務局

教育委員会事務局：芳岡教育部長、原田学校教育課長、塩田学校教育課主幹、国広文化・社会教育課長兼人権教育課長、前田図書館長、村崎体育課長、清水学校給食センター所長、升教育総務課長、久岡教育総務課経理係長

5 教育長報告

- (1) 市職員並びに公立学校教職員の人事異動について
- (2) スポーツ優秀選手表彰について
- (3) ご寄附の報告について

6 議 事

(1) 議案及び報告

ア 議案第5号 令和4年度光市教育委員会重点施策について

(ア) 概 要

令和4年度光市教育行政重点施策を定めるため、本案を提出。

(イ) 内 容

施策の概要について、各課より説明。

(ウ) 主な意見や質疑

① 意 見

草刈り機の更新について、より作業効率のよい芝刈り機を導入してはどうか。教育委員会で管理、または各小・中学校に導入など考えられるが、学校と調整して検討をお願いしたい。

回 答

備品購入については、予算編成前に各学校に対しヒアリングを実施し、要求品目を決定している。価格等を考慮し導入を検討したい。

今回、教育総務課でブロワー、チェーンソー等を購入し、各学校が必要な際に貸出

する予定。

② 意見

来年度から「まなびばひかり」の本格運用となるが、実際に現場を見ると、利用者が増加した場合のスペース確保が課題ではないか。拡張計画などあれば教えていただきたい。

回答

現在、5名程度の児童生徒を受入予定。これは、先行する下松市、周南市の状況を確認した結果等を踏まえ、現時点ではこの体制でのスタートを予定している。

今後、利用者が増加すれば、運用の在り方、スペース等についても検討したい。

③ 意見

情報発信について、ホームページなどを活用し広く公開するのか、それとも不登校の児童生徒に限定して情報発信するのか、どちらの方針を考えているのか。

回答

利用する児童生徒、保護者のことを考えると、大きく前面に出してというものではないと考える。試行的運用の際も、チラシ等の配布は不登校傾向にある児童生徒に限定した。

一方で、開設にあたり、こういった場の存在を周知することも極めて重要であるため、慎重に検討したい。

回答

来所する子どもにとってどうなのか、が一番大切である。広く公開することで利用しにくくなるのであれば配慮は必要。

一方で、開設についてはニーズのあるご家庭に周知を図る必要があるので、ホームページなどで広く情報提供を図ることも必要であり、その両面を考慮しながら、様々な面で整理が必要である。

④ 意見

ニーズのあるご家庭に情報が届くことが重要である。

近隣市の状況を確認し運用していくのは大変参考になるし、いいやり方だと思う。様々な面を検討しながらやってほしい。

回答

既存のアウトリーチ型の支援と一体的に実施し、困っている児童生徒、家庭に対し、支援の手が届かないという状況を作らない。これは徹底してやっていきたいと考えている。

⑤ 意見

中学校部活動のあり方についての調査研究について、段階的な地域移行等について

協議していく中で、地域の人材に部活動の指導をお願いするという話を聞いた。

光市には体育課、体育協会などの組織があるので、継続的に優れた人材、指導者を確保するには、これらの組織の活用が必要だと考える。

回 答

山口県でも、山口部活動改革推進協議会等が行われ、委員ご指摘のような他課との連携による組織的な取り組みや、全県的な整備の必要性が検討されている。

そういった点も考慮しながら進めたい。

⑥ 意 見

次世代型コミュニティ・スクールの充実について、第2次光市教育大綱の中では、幼児期から18歳までを見通したとあるが、先日の市長との総合教育会議の中では、大学との連携についても触れられ、大きく動き出そうとしているという印象。

大綱としては5年間という期間がある中で、この文面からは高校生、大学生へと繋げるというのが見えないが、1年目で足踏み状態ということなのか。

回 答

校種間の連携について、幼保小の連携ではすでに組織的に研修会等も実施しているが、それに加え、今年度は高校との連携もいくつか実施している。

例えば、この度、統合となった光丘高校の卒業式に、浅江小・中学校の児童生徒が参加するというのも実施しており、各学校、地域ごとに取り組んでいる状況。

これらの取り組みを足がかりに、様々な連携のあり方や総合的な学習の時間などとの連携も視野に入れながら進めていきたい。

回 答

既に取り組んでいる内容だが、地域学校協働活動推進員が光高校の学校運営協議会の委員として活動している。

これは、本市が委嘱した人が、高校の学校運営協議会に参加することで、小中学校と高校とのパイプができるということ。また、各中学校の校長も、同校の学校運営協議会の委員となり、意見を出しながら、新たな取り組みを検討しながら中・高としてのつながり、コミュニティ・スクールとしてのつながりを仕掛けている。

これをより見えるかたちで発展させていくという構想を持っている。

また、大学とのつながりというのは具体化してない。具体的にはこれからだと考えている。

⑦ 意 見

家庭教育支援チームの活動について、現在、小学校3校中学校2校が設置校だが、小中一貫という中学校区を基本とした考えがある中で、今後は中学校区に一つは設置するというのがまとまりや運営の仕方としてもよいのではないかと。

回 答

家庭教育支援チームは、実質上、各中学校区にはあるが、例えば、室積小学校区は室積小学校だけ、島田小学校区は島田小学校だけでチームが組織されており、島田小学校チームが三井小に行く、ということは現状ではない。

チームの設立について、こちらから設立を促したのではなく、自然発生的に設立された経緯もあることから、これから小中一貫が進むことで新たな機能も発揮できると考えている。

回 答

ご意見は非常によく理解できるところであり、小中一貫とあわせてそのような取り組みが出てくると考えている。

⑧ 意 見

2022ビーチランH i k a r i、梅まつりコバルト・ウォークについて、とてもいいスポーツイベントである。

現在は、体育課だけで運営しているが、市外からの参加者に対し、パンフレット等を活用し光市をPRしてほしい。虹ヶ浜やコバルトラインなどを見て、すごく綺麗だと感じられる方は多いはず。

商工観光課、観光協会等と連携し、光市の観光名所のPRもあわせて実施し、スポーツを通じた発展につなげてほしい。

回 答

ビーチランは、虹ヶ浜のPRも含め、楽しいイベントであることを発信したい。

梅まつりコバルト・ウォークは、観光協会、商工観光課と運営方法について協議し、いろいろなかたちでPRできるように検討しているが、それが実現できるよう取り組んでいきたい。

(エ) 議 決

全員一致で承認される。

イ 議案第 6号 光市教育委員会会議規則の一部改正について

議案第 7号 光市教育委員会会議オンライン出席取扱基準の制定について

(ア) 概 要

規則の一部改正及び基準の制定について、事務局より説明。

(イ) 内 容

新型コロナウイルス感染症や非常災害その他緊急時への対応として、オンライン会議システム等を活用して教育委員会の会議を開催することができるよう所要の改正を行うもの。

(ウ) 議 決

全員一致で承認される。

ウ 議案第 8号 学校運営協議会委員の任命について

(ア) 概 要

学校運営協議会委員の任命について、事務局より報告。

(イ) 内 容

概要のとおり。

(ウ) 議 決

全員一致で承認される。

エ 議案第 9号 第2次光市教育振興基本計画の策定について

(ア) 概 要

第2次光市教育振興基本計画の策定について、事務局より説明。

(イ) 内 容

概要のとおり。

(ウ) 主な意見や質疑

① 意 見

基本的には用語解説があり読みやすいが、64ページ成果指標の「学校図書館図書標準達成度」という言葉は、用語解説を読んでもよくわからない。

用語解説について見直しがあったほうがよいのでは。

回 答

わかりにくい言葉をわかりやすく表現するため、用語解説を設けているが、その説明がわかりにくいということであれば検討したい。

② 意 見

教育委員会的にはわかるかもしれないが、一般的にわかりやすい表現にすべきでは。

インターネットで調べると、「公立義務教育諸学校で整備すべき蔵書数」とあったが、このような表現であれば、蔵書が不足しているのではなく、全体ではたくさんあるが、一部の学校で少し足りてないというのがわかり、少ない学校を増やせば達成できるというのがわかりやすい。

回 答

いただいたご意見を参考に検討したい。

(エ) 議 決

全員一致で承認される。

オ 議案第10号 施設一体型小中一貫ひかり学園の新設に係る方針の策定について

(ア) 概要

施設一体型小中一貫ひかり学園の新設に係る方針の策定について、事務局より説明。

(イ) 内容

概要のとおり。

(ウ) 主な意見や質疑

① 意見

やまと学園は、令和4年度から検討を進めていくが、大和中学校のほうに一体型で考えているのか。

回答

場所については、現行地を第一に検討するという表現を方針で使用しており、具体的には決定していない。

② 意見

今後、方向性が決定していく中、既存施設をどう活用するのか。例えばコミュニティセンターや、スポーツの推進のための公園として有効活用すべき。

また、先ほど「まなびばひかり」の説明があったが、利用者が増えていくと、そういった場所を活用するなども考えられる。

回答

方針の12ページ「イ 地域づくりのあり方」に、「なお、施設一体型小中一貫ひかり学園の新設や、それに伴う学校跡地の利活用などについては、今後の地域づくり、まちづくりのあり方と密接不可分であるため、光市公共施設等総合管理計画を踏まえ、市民の皆様への丁寧な説明に努めながら進めていく必要があります。」と記載している。

どのように活用していくのかについて、市全体で考えていく必要がある。

また、市の全体計画として総合管理計画があり、その中の基本方針では、今使っているうちから、廃止後のことも検討していくという考え方が示されている。

そういった考えに基づいて進めていきたい。

③ 意見

市で一体となってやっていくということですね。

廃校になるよりは、子どもたちが使って、子どもたちの声が聞こえるという形になれば、地域にとってもいいのではないかと。

市全体で協力し合い、進めていただきたい。

(エ) 議決

全員一致で承認される。

カ 議案第 11号 第 4次光市子どもの読書活動推進計画の策定について

(ア) 概 要

第 4次光市子どもの読書活動推進計画の策定について、事務局より説明。

(イ) 内 容

概要のとおり。

(ウ) 主な意見や質疑

① 意 見

図書資料の充実及び読書環境の整備について、「児童生徒が学習活動において、情報を適切に収集・選択・活用できるよう、蔵書の管理方法等の検討を行い、小中学校の学校図書館にパソコン端末を整備し、小学校 1 校をモデル校として、蔵書管理システムを導入しました。」とあるが、今後の進め方はどのような方針なのか。

導入した、で終わっているので今後の方針を伺いたい。

回 答

これまでの取組と成果についての記載であるため、この表現とした。

実際には、バーコードを活用して蔵書を管理するもので、室積小学校に試験的に導入したもの。

導入の結果、本の検索や個人の貸出履歴の管理が簡易になるなどの効果を得たが、そのような効果を踏まえた上で、来年度予算でもう 1 校導入予定。

ご指摘のように、効果を検証しながら、全体に広めていくのか、今後の方針を検討したい。

② 意 見

いろいろな取組に挑戦し、いいことであればどんどん進めてほしい。

(エ) 議 決

全員一致で承認される。

キ 報告第 9号 光市文化センターの臨時休館について

(ア) 概 要

光市文化センターの臨時休館について、事務局より説明。

(イ) 内 容

概要のとおり。

(ウ) 議 決

全員一致で承認される。

ク 報告第10号 光市立図書館の臨時休館について

(ア) 概要

光市立図書館の臨時休館について、事務局より説明。

(イ) 内容

概要のとおり。

(ウ) 議決

全員一致で承認される。

ケ 報告第11号 令和3年度光市一般会計補正予算（第12号）について

(ア) 概要

令和3年度光市一般会計補正予算（第12号）について、事務局より説明。

(イ) 内容

概要のとおり。

(ウ) 主な意見や質疑

① 意見

スポーツ振興くじの助成金 20,000 千円について、大和総合運動公園のテニスコートを改修したとのことだが、どういったかたちで補助対象事業が決定されるのか教えてほしい。

回答

テニスコート人工芝4面の張りかえ工事を行ったもの。今年度は、補助申請の結果採択されたが、毎回必ず採択されるとは限らない。

② 意見

助成が受けられるのは嬉しいこと。本助成金を積極的に活用してほしい。

回答

平成28年度にスポーツ館の柔道用の畳の更新にも本助成金を活用し、この度、バスケットゴールの更新についても活用したいと考えており、現在申請中である。

③ 意見

活用可能な助成金、補助金等があれば、うまく活用して設備の修繕等に取り組んでいただきたい。

(エ) 議決

全員一致で承認される。

コ 報告第12号 令和4年第2回光市議会定例会一般質問要旨について

(ア) 概 要

令和4年第2回光市議会定例会一般質問要旨について、事務局より説明。

(イ) 内 容

概要のとおり。

(ウ) 議 決

全員一致で承認される。

サ 報告第13号 区域外就学の承認について

(ア) 概 要

区域外就学の承認について、事務局より説明。

(イ) 内 容

区域外就学の協議及び申請のあった25件を承認したことについて報告するもの。

(ウ) 議 決

全員一致で承認される。